



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 NDS株式会社

コード番号 1956 URL <http://www.nds-g.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 伊藤 卓志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 吉川 努

TEL 052-263-5011

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	60,479	18.8	2,434	253.3	2,715	187.0	1,443	443.6
24年3月期第3四半期	50,895	△0.3	688	△43.0	946	△38.7	265	△61.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,641百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 123百万円 (△80.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	24.50	23.90
24年3月期第3四半期	4.49	4.40

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	63,803	34,436	49.8
24年3月期	61,675	33,379	49.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 31,758百万円 24年3月期 30,765百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—		
25年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,000	5.2	2,200	9.3	2,400	2.6	1,200	12.4	20.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページの「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	65,962,988 株	24年3月期	65,962,988 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	7,044,010 株	24年3月期	7,049,449 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	58,913,597 株	24年3月期3Q	59,126,525 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州金融不安等による世界経済の減速、長引く円高など、先行き不透明な環境のなか推移しました。しかし、11月の衆議院解散以降、新政権発足による景気刺激策実施への期待感や米国経済の回復も相まった円安の加速、株価の上昇など、景気回復への兆しが見られるようになりました。

当社グループの事業に大きく関係する情報通信分野では、スマートフォンの更なる普及等を背景に、9月には国内携帯電話事業者2社が新たにLTEサービスを開始するなど、通信サービスの高速大容量化に対応したインフラ設備投資が拡大しております。

このような事業環境の中、当社グループは総合エンジニアリング事業を中心に受注・売上の拡大に注力し、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高637億65百万円（前年同期比115.8%）、売上高604億79百万円（前年同期比118.8%）となりました。利益面につきましては、売上高が拡大したこと、売上原価の低減に努めたことなどにより営業利益24億34百万円（前年同期比353.3%）、経常利益27億15百万円（前年同期比287.0%）、四半期純利益14億43百万円（前年同期比543.6%）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、従来の「通信建設事業」について「総合エンジニアリング事業」へ名称を変更しております。

#### 【セグメント別の概況】

##### ① 総合エンジニアリング事業

モバイル設備工事において、スマートフォン需要対応工事や地下鉄不感地対策工事等を受注したことにより、受注高は前年同期に比べて増加しました。売上高については、光サービス関連工事が堅調に推移したことに加え、モバイル設備工事における売上高が拡大したことから、前年同期に比べて増加しました。利益面では、売上高が拡大したこと、売上原価の低減に努めたことにより、営業利益は前年同期に比べ増加しました。

##### ② 情報サービス事業

連結子会社の増加がありましたが、システム開発分野において受注単価等に厳しさがあり、受注高、売上高ともに前年同期に比べて減少し、営業損失となりました。

##### ③ 住宅不動産事業

市況が冷え込む中、前年同期に比べて受注高は減少し、売上高は増加しましたが、営業損失となりました。

##### ④ ビジネスサポート事業

半導体製造装置の設置・保守事業、人材派遣事業、リース事業等で受注高・売上高確保に努め、受注高・売上高ともに前年同期に比べて増加しましたが、営業利益は前年同期に比べて減少しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、売上債権の回収等による現金預金の増加などにより、24億99百万円増加の360億75百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、有形固定資産が54百万円増加しましたが、無形固定資産が1億95百万円、繰延税金資産が1億83百万円減少した結果、3億71百万円減少の277億28百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、短期借入金が長期借入金からの振替などにより48億51百万円増加しましたが、支払手形・工事未払金等が9億47百万円、未払法人税等が3億6百万円減少した結果、27億94百万円増加の188億46百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、長期借入金が短期借入金への振替などにより15億51百万円減少した結果、17億21百万円減少の105億20百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、配当金5億90百万円の支払がありましたが、四半期純利益を確保し、その他有価証券評価差額金が1億40百万円増加した結果、10億56百万円増加の344億36百万円、自己資本比率は49.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び当期純利益は平成24年11月9日に公表いたしました通期の業績予想を上回っておりますが、最近の動向から第4四半期での業績が流動的であることもあり、現時点において連結業績予想については変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	5,702	7,198
受取手形・完成工事未収入金等	21,138	22,032
リース債権及びリース投資資産	2,479	2,498
未成工事支出金	66	459
仕掛品	63	161
仕掛販売用不動産	1,114	1,882
販売用不動産	826	73
商品	223	192
材料貯蔵品	679	629
繰延税金資産	853	425
その他	524	702
貸倒引当金	△96	△181
流動資産合計	33,575	36,075
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	4,392	4,874
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	2,884	2,730
土地	8,536	8,422
貸与資産（純額）	199	235
建設仮勘定	201	5
有形固定資産合計	16,215	16,269
無形固定資産	1,281	1,085
投資その他の資産		
投資有価証券	7,718	7,699
長期貸付金	98	125
繰延税金資産	1,233	1,049
その他	1,713	1,609
貸倒引当金	△161	△111
投資その他の資産合計	10,602	10,372
固定資産合計	28,099	27,728
資産合計	61,675	63,803

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,118	5,171
短期借入金	5,252	10,104
リース債務	205	226
未払法人税等	698	391
未成工事受入金	64	85
賞与引当金	1,516	695
役員賞与引当金	42	—
工事損失引当金	77	37
その他	2,076	2,134
流動負債合計	16,052	18,846
固定負債		
長期借入金	6,625	5,074
リース債務	479	393
退職給付引当金	4,283	4,225
役員退職慰労引当金	307	272
その他	545	554
固定負債合計	12,242	10,520
負債合計	28,295	29,367
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,676	5,676
資本剰余金	4,425	4,425
利益剰余金	22,028	22,876
自己株式	△2,278	△2,272
株主資本合計	29,852	30,705
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	913	1,053
その他の包括利益累計額合計	913	1,053
新株予約権	276	319
少数株主持分	2,337	2,357
純資産合計	33,379	34,436
負債純資産合計	61,675	63,803

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高		
完成工事高	40,336	49,370
兼業事業売上高	10,558	11,108
売上高合計	50,895	60,479
売上原価		
完成工事原価	36,788	43,898
兼業事業売上原価	9,047	9,449
売上原価合計	45,836	53,347
売上総利益		
完成工事総利益	3,548	5,471
兼業事業総利益	1,511	1,659
売上総利益合計	5,059	7,131
販売費及び一般管理費	4,370	4,697
営業利益	688	2,434
営業外収益		
受取利息	20	12
受取配当金	168	170
受取賃貸料	101	106
持分法による投資利益	47	58
その他	138	161
営業外収益合計	475	509
営業外費用		
支払利息	106	116
支払手数料	1	1
賃貸費用	76	88
その他	33	21
営業外費用合計	218	228
経常利益	946	2,715
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	9	11
段階取得に係る差益	291	—
関係会社清算益	—	18
その他	29	0
特別利益合計	330	32
特別損失		
固定資産処分損	14	36
投資有価証券評価損	40	24
持分変動損失	125	—
その他	3	5
特別損失合計	184	67
税金等調整前四半期純利益	1,092	2,681
法人税、住民税及び事業税	225	691
法人税等調整額	553	483
法人税等合計	779	1,174
少数株主損益調整前四半期純利益	313	1,507
少数株主利益	47	63
四半期純利益	265	1,443



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	313	1,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△172	134
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△0
その他の包括利益合計	△190	134
四半期包括利益	123	1,641
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74	1,583
少数株主に係る四半期包括利益	48	57

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	通信建設 事業	情報 サービス 事業	住宅不動産 事業	ビジネス サポート 事業			
売上高							
(1)外部顧客への売上高	40,336	5,220	728	4,609	50,895	—	50,895
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	35	149	1	1,379	1,566	△1,566	—
計	40,372	5,370	730	5,989	52,461	△1,566	50,895
セグメント利益又は損失(△)	271	53	△58	393	659	29	688

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額29百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「情報サービス事業」セグメントにおいて、ブリッジ・モーション・トゥモロー株式会社の株式を追加取得し、当該会社を連結子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては453百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合エンジ ニアリング 事業(注)1	情報 サービス 事業	住宅不動産 事業	ビジネス サポート 事業			
売上高							
(1)外部顧客への売上高	49,370	4,844	1,059	5,204	60,479	—	60,479
(2)セグメント間の内部売上 高又は振替高	43	319	1	1,301	1,665	△1,665	—
計	49,413	5,164	1,060	6,506	62,145	△1,665	60,479
セグメント利益又は損失(△)	2,191	△89	△84	376	2,393	40	2,434

(注) 1 第1四半期連結会計期間より、従来の「通信建設事業」について「総合エンジニアリング事業」へ名称を変更しております。なお、変更は名称のみでありますので、これによる報告セグメント情報の損益等に与える影響はありません。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額40百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

受注高、売上高及び受注残高の状況

##### ① 受注高

(単位：百万円)

期別 部門別	前第3四半期連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日		増減金額 (△は減)	対前期比
	金額	構成比	金額	構成比		
			%		%	
総合エンジニアリング事業	43,858	79.7	52,553	82.4	8,695	119.8
情報サービス事業	5,405	9.8	4,852	7.6	△552	89.8
住宅不動産事業	1,331	2.4	1,165	1.8	△165	87.5
ビジネスサポート事業	4,451	8.1	5,194	8.2	742	116.7
計	55,046	100.0	63,765	100.0	8,718	115.8

(注) 記載金額は百万円未満を切捨表示してあります。

##### ② 売上高

(単位：百万円)

期別 部門別	前第3四半期連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日		増減金額 (△は減)	対前期比
	金額	構成比	金額	構成比		
			%		%	
総合エンジニアリング事業	40,336	79.2	49,370	81.6	9,033	122.4
情報サービス事業	5,220	10.3	4,844	8.0	△375	92.8
住宅不動産事業	728	1.4	1,059	1.8	330	145.4
ビジネスサポート事業	4,609	9.1	5,204	8.6	594	112.9
計	50,895	100.0	60,479	100.0	9,584	118.8

(注) 記載金額は百万円未満を切捨表示してあります。

##### ③ 受注残高

(単位：百万円)

期別 部門別	前第3四半期連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年12月31日		増減金額 (△は減)	対前期比
	金額	構成比	金額	構成比		
			%		%	
総合エンジニアリング事業	11,297	78.0	13,356	84.3	2,059	118.2
情報サービス事業	362	2.5	115	0.7	△246	32.0
住宅不動産事業	655	4.5	188	1.2	△466	28.8
ビジネスサポート事業	2,177	15.0	2,192	13.8	15	100.7
計	14,492	100.0	15,853	100.0	1,361	109.4

(注) 記載金額は百万円未満を切捨表示してあります。